

第3回愛南町海業推進会議 議事概要

開催日時 : 令和5年12月13日(水曜日)9時30分から12時40分
開催場所 : 愛南町役場本庁3階大会議室
参加者 : 清水町長、海業推進会議委員(18名)
事務局(愛媛県2名、(株)価値総合研究所2名、愛南町)
一般来場者 : 1名
報道機関 : 1名(1社)

議事概要 :

会議冒頭、清水町長から開会挨拶。以下、流れに沿って記載。

【第1部】情報提供

まず、第2回海業推進会議の振り返り、「海業関連産業の域内取引構造の現状と課題」について、資料に沿って説明が行われた。

<第2回海業推進会議の振り返り等について>

海業推進室の浜辺室長から、第2回海業推進会議の議事概要及びグループワークのとりまとめをもとに前回の振り返りを実施。第2部では、これまでのグループワークや事前アンケートをもとにグループワークを行うことが説明された。次に、第2回海業推進会議以降の取り組みや先進的海洋センター整備事業、海業推進室SNSについて説明が行われた。また、1月20日に開催される水産フォーラムについても紹介が行われた。最後に、田中(純)委員から10月27日に開催された情報交換会の報告、大野委員から運営委員会の状況について報告が行われた。

<海業関連産業の域内取引構造の現状と課題について>

(株)価値総合研究所の鴨志田氏から、前回に引き続き漁業・養殖業、水産食料品製造業、生鮮魚介卸売業、小売業における取引構造及びその課題が提示され、今後海業を進める上で各業種が域内での取引を拡大していくことの重要性が説明された。また、海業推進のポイントとして地域経済循環の構築には「何をやるのか」に加え「誰がやるのか」を決めることや地元の資本・資源・人材で取り組むことが重要であることが改めて説明された。

(休憩10分、第2部は10時25分より再開)

【第2部】グループセッション

まず、浜辺室長からグループワークの進め方、水産庁が公表した海業の取組事例から愛南町に近い事例について説明が行われた。

＜グループワーク＞

これまで出てきたアイデアに対し、すぐにできるかという時間軸並びに未来の愛南町にとっての重要度という2つの評価軸を用いて、9つのカテゴリに分類する議論を2グループに分かれて実施した。最後に、各グループのコーディネーター役の田中（純）委員及び大野委員らから議論の内容や感想を発表した。

【その他、連絡事項】

事務局から、13時30分から水産庁が開催する第1回海業推進全国協議会について、同会場で視聴できること、次回の海業推進会議を1月26日または31日に開催すること、運営委員会による振り返りは年内を目途に別途連絡することの説明が行われた。

以上